

3 地下水揚水量の状況

本県の地下水利用状況は、用途別では工業用及び水道用で約6割を占めている。1975年度に約2,500千 m^3 /日あった揚水量は、尾張地域の揚水規制や工業用水道への水源転換により大幅に減少し、2025年度は685千 m^3 /日となり、1975年度と比較すると約28%である。（図3-1、資料-5）

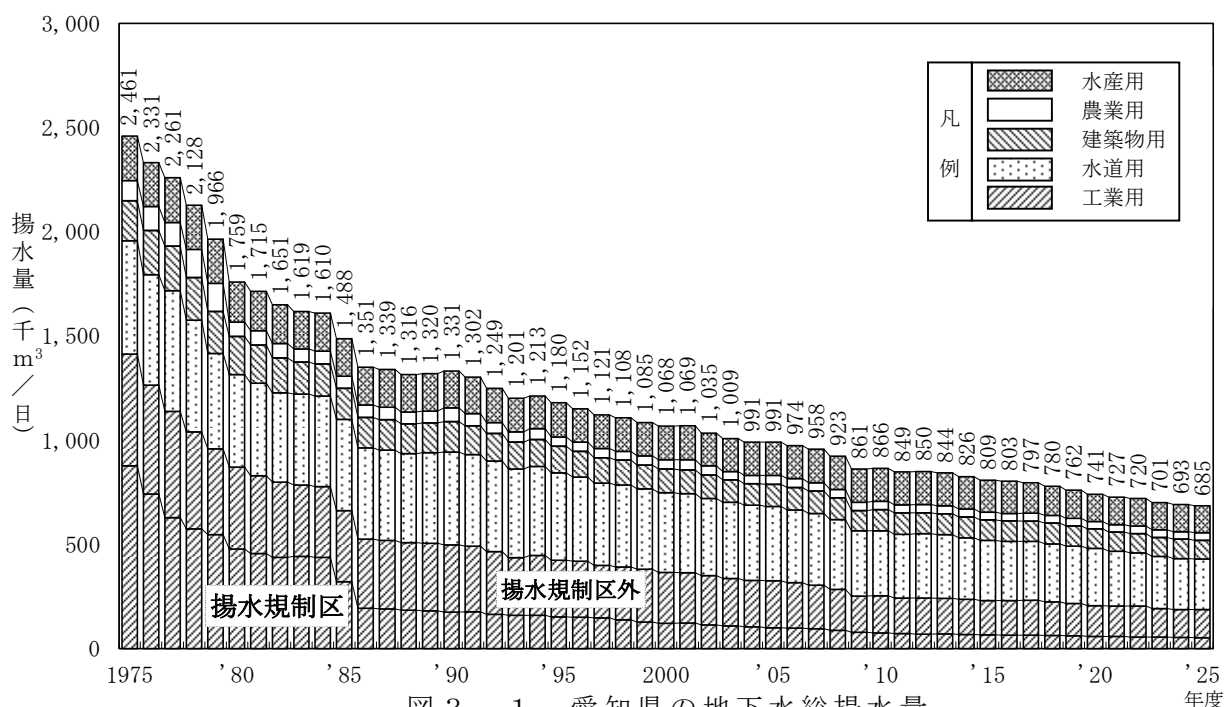


図3-1 愛知県の地下水総揚水量

(1) 尾張地域（規制区域内）

2025年の用途別揚水量では、水道用が多く約61%を占めている一方、工業用は、約22%であった。1974年の愛知県公害防止条例（現：県民の生活環境の保全等に関する条例）改正による揚水規制を始め、1980年の木曽川用水の通水、1985年の尾張工業用水道の給水等の対策により地下水揚水量は大幅に減少し、2025年度は240千 m^3 /日となり、1975年度と比較すると約17%である。揚水量全体では、濃尾平野地盤沈下防止等対策要綱の愛知県分の目標量の半分程度であるが、許可している揚水量の合計は目標量を上回っている。（図3-2）

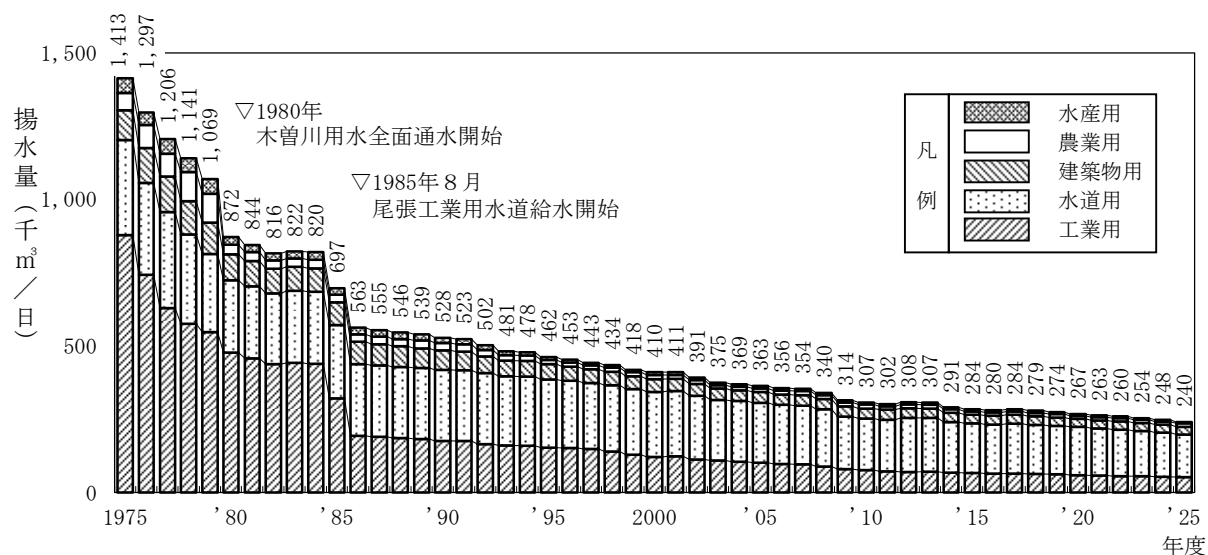


図3-2 尾張地域（県民の生活環境の保全等に関する条例の規制区域19市町村）地下水揚水量

(2) 尾張地域（規制区域外）・知多地域

2025年度の地下水揚水量は65千 m^3 /日で、1975年度と比較すると約32%である。

(図3-3)

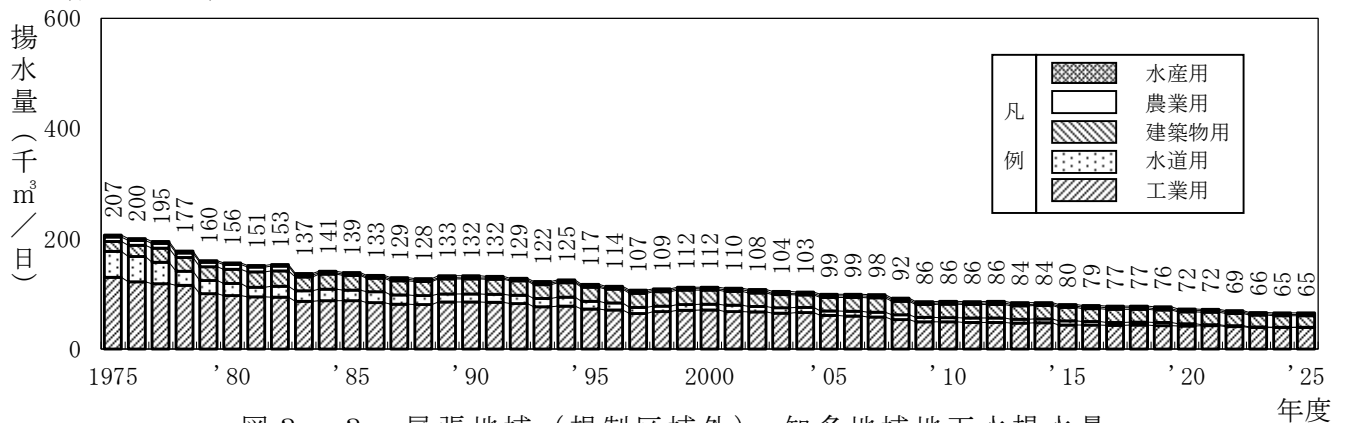


図3-3 尾張地域（規制区域外）・知多地域地下水揚水量

(規制区域外の尾張地域5市1町+知多地域5市5町)

(3) 西三河地域

2025年度の地下水揚水量は162千 m^3 /日で、1975年度と比較すると約36%である。

(図3-4)

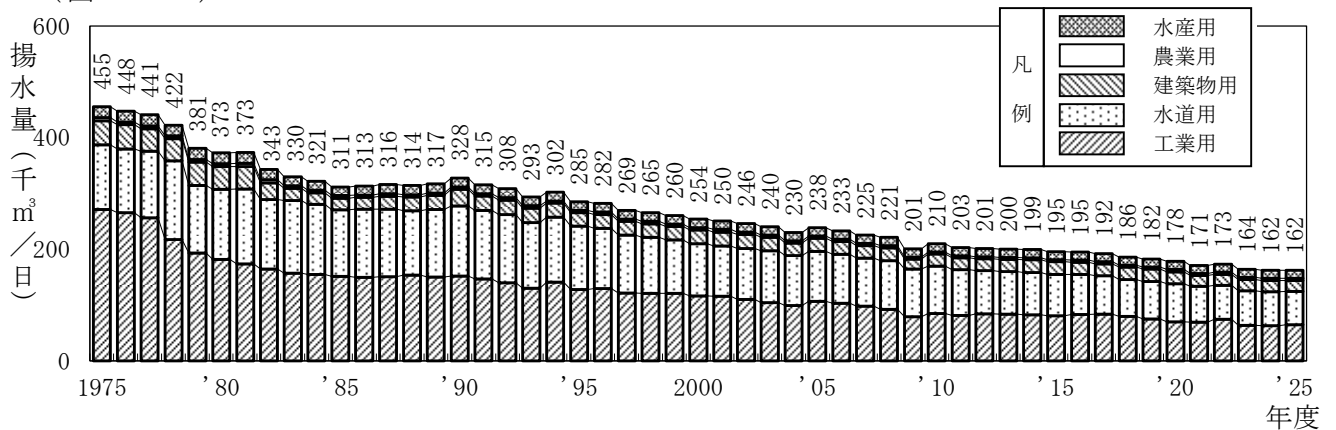


図3-4 西三河地域地下水揚水量

(4) 東三河地域

2025年度の地下水揚水量は218千 m^3 /日で、1975年度と比較すると約56%である。

(図3-5)

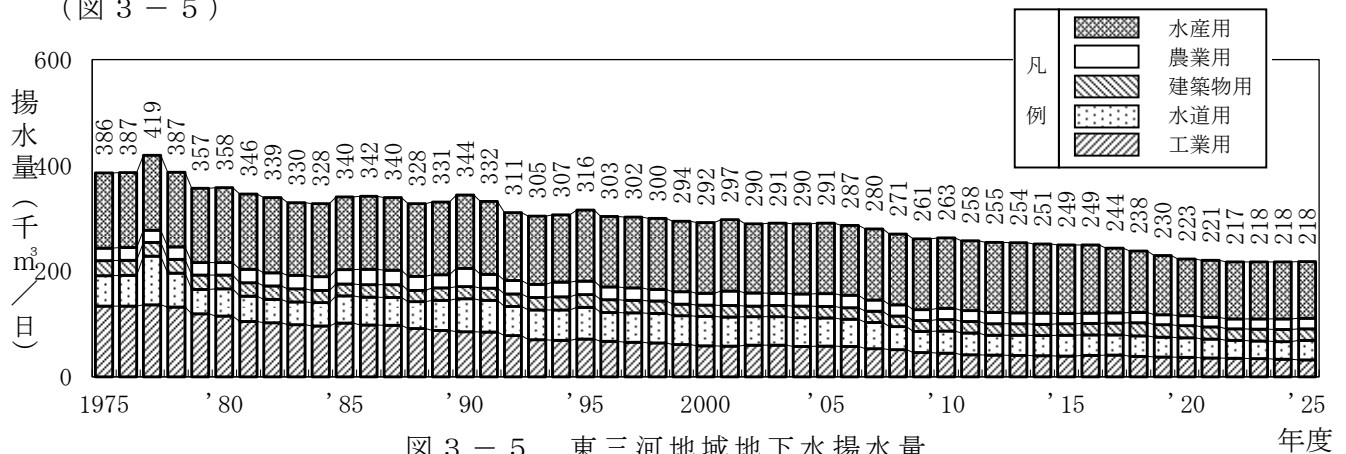


図3-5 東三河地域地下水揚水量